

令和元年度（2019年度）行政評価シート【個表】

令和元年7月5日

評価対象事業		評価者	高齢者いきいき課担当課長 内田 章子		
健福-21	実施事業	高齢者活動運営事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課	高齢者いきいき課
			<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課	
総合計画上の位置付け	分野	健康福祉	施策の方針	地域生活の支援サービス	

1 事業の目的

対象	高齢者
意図	高齢者の社会参加や生きがいづくりを支援し、福祉の向上を図るため。
効果	高齢者の健康維持や介護予防が図られ、長寿を喜ぶとともに、公的年金を受給できない外国籍市民の福祉を増進する。

2 平成30年度(2018年度)に実施した事業の概要

<ul style="list-style-type: none"> ・長寿のお祝いとして88歳及び100歳以上の高齢者に対し、祝品を贈った。 ・65歳以上の方が市内の公衆浴場を利用する場合に、入浴料の一部を助成した。 ・デイ銭湯事業やいきいきサークル事業を行い、高齢者の生きがいづくりを支援した。 ・老人クラブの活動を支援するため、補助金を交付した。
--

3 事業費等基礎データ

データ区分	29年度(2017年度)決算		30年度(2018年度)決算		01年度(2019年度)当初予算		備考
	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数	
人口等のデータ	176,466人	81,150世帯	176,308人	81,763世帯	176,436人	82,444世帯	・各年3月31日(住民基本台帳)
事業の対象者数							
運営資源状況	決算値(千円)	31,975	31,590	当初予算(千円)	33,222		
	国県支出金	1,955	1,749	国県支出金	1,890		
	地方債			地方債			
	その他	10,537	5,523	その他	5,523		
	一般財源	19,483	24,318	一般財源	25,809		
事業経費運営	人員配置数	1.9	1.9	人員配置数	1.8		
	人件費(千円)	15,055	15,013	人件費(千円)	14,294		
	総事業費(千円)	47,030	46,603	総事業費(千円)	47,516		
	市民1人当りの経費(円)	267	264	市民1人当りの経費(円)	269		
	対象者1人当りの経費(円)			対象者1人当りの経費(円)			

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効 率 性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	2. 増大している
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きいか	3. 廃止・休止による影響は大きくある
	今後も市が実施すべき事業か	5. 豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有 効 性	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きいか	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
公 平 性	受益者負担は公正・公平か	○.負担導入済 ○-1. 既に受益者負担を求めているが、今後、その額や対象等を再検討する必要がある
		△-2. 市民等と協働して事業を実施することはできない
協 働	市民等と協働して事業を展開しているか	△.協働未実施
		協働実施済の場合のパートナー

事業内容の方向性	<input type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す ⇒	見直しの種類	<input type="checkbox"/> 拡大	見直しの内容	
	<input checked="" type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする		<input type="checkbox"/> 縮小		
	<input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する		<input type="checkbox"/> その他		
	<input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する ⇒				事業へ統合
予算規模の方向性	<input type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由	高齢者の社会参加や生きがいづくりを支援することは、健康維持や介護予防に有効な事業であり、事業を実施する必要がある。		
	<input checked="" type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする				
<input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する					

総評(評価に対する考え方、根拠等)	健康寿命延伸のために、元気な高齢者に対するサービスの提供事業は有効である。財源確保に努めるとともに、利用者の公平性を高めるため、サービス内容の見直しや提供の方法等について検討を進め、更なる社会参加や生きがいづくりへの支援が必要である。
-------------------	---

平成30年度(2018年度)事業実施にあつての課題(前年度未解決の事項を含む)	高齢者入浴助成事業は、神奈川県後期高齢者医療制度補助金の対象外となったため、事業のあり方を検討する必要がある。 高齢者割引乗車証等購入費助成事業の復活を望む声が多かったが、財源確保が難しく実現の見通しは立っていない。 元気な高齢者に対するサービスの創設とその財源確保についてさらに検討する必要がある。
課題解決のために行った平成30年度(2018年度)の取組	高齢者の外出支援ができるよう、地域貢献バス等モデル事業の試行に向けて検討をした。
未解決の課題、新たな課題とその理由	元気な高齢者に対するサービスの創設とその財源確保について引き続き検討する必要がある。 また、各種サービスにICT活用の可能性についても検討していく必要がある。

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項	高齢者入浴助成事業実施状況							
団体名	鎌倉市	川崎市	横須賀市	藤沢市	逗子市	茅ヶ崎市		
他市実績	72枚(自己負担200円)	毎週土曜日、福寿手帳提示で半額	一人暮らし登録高齢者のみ	いきいき交流事業の一環	72枚(自己負担150円)	高齢者優待サービス事業の一環		

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	高齢者の健康増進やコミュニケーションを向上させる手段として、他自治体においても公衆浴場入浴料の助成は有効であり、自己負担額も適性であると考えられるが、他市では複数あるサービスのひとつとして実施しているところもあることから、本事業の実施方法等について今後検討していく必要がある。
----------------------	--

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	敬老祝品贈呈者(100歳以上市民)					単位	人	指標の傾向	⇒	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)			
敬老祝品贈呈対象者の推移の把握	目標値	122	130	144	141	149	162			
	実績値	122	130	144	141	142				
	達成率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	95.3%				

指標の内容	入浴助成券交付率(交付部数/65歳以上市民)					単位	人	指標の傾向	↘	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)			達成率は低いですが、地域によっては必要性がある。
入浴助成事業に対するニーズの把握	目標値	52,018	53,088	53,541	53,867	54,011	54,096			
	実績値	3,493	3,274	3,235	3,179	2,912				
	達成率	6.7%	6.2%	6.0%	5.9%	5.4%				

指標の内容	デイ銭湯参加人数					単位	人	指標の傾向	⇒	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)			
デイ銭湯事業に対するニーズの把握	目標値	2,430	2,430	2,430	2,430	2,430	2,430			
	実績値	1,347	1,347	1,298	1,312	1,290				
	達成率	0.0%	55.4%	53.4%	54.0%	54.0%				

当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	寿命の延伸に伴い対象者が増加している。今後も増加傾向が続くと考えられ、高齢者がいつまでも明るくいきいきとした生活を送ることができることを目指して、高齢者福祉事業を実施する。
-----------------------	--